

八代集抄

尾形達序

二五

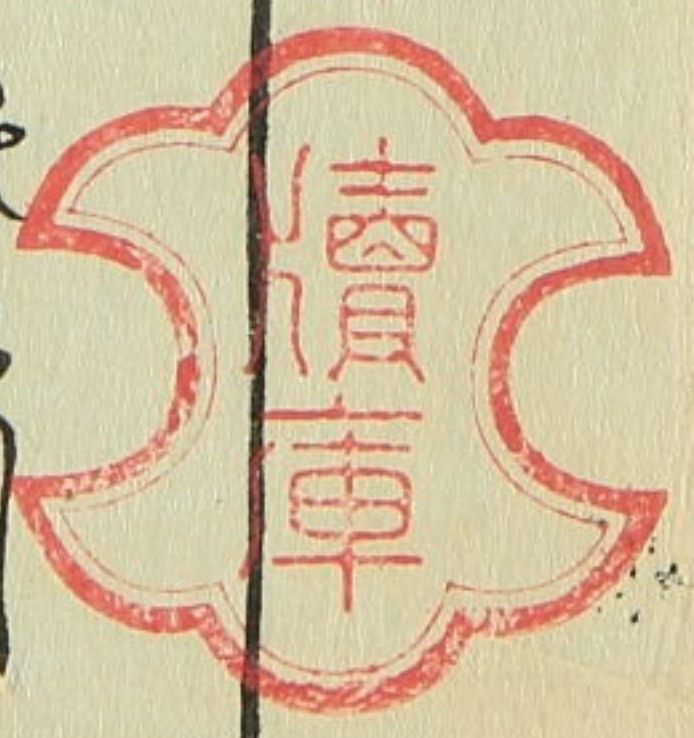
特別
イ 4
3163
104(21)



頁
14
3163
104(21)

後拾遺和歌集 二十卷

再負八十五子二百十八首以集の序をもてり
白河院乃慈徳三年九月十六日中納言通後つ撰述せ
らる。これより承保二年九月に集撰出せり
詔命をうけり。と。公務りしに
転年をしく終り慈徳三年九月に撰述せ
十月中旬より奉撰せり。於源法師大江作金巻撰
抄より一載あり。又ゆ。承保二年十一月堀河院受
録より撰述あり。寛治元年
中出り直り。是の年纂考の抄に



後拾遺和歌集序 通後之自序之序ハ緒也シヨニ編ハカ留リと奉ルことハ蘭
乃緒ハチと概スがくく又舒チヨ也ハ己ハ信シ注チの意コトとのハ也ハ 尤傳トク正義トクと美トク傳トク疏トク
畧ハチ注チ



わりきみあめのき

げん白の流沖海

乃引と玉家志の糸

一和并正雅の

りよとさくさく

御宇アムノミを巨漢

四乃シノ々々東夷南蠻

北狄西戎ととり

九乃糸統紫九圓

糸イトとさくさく

心ココロとさくさく

かちよう日のうらな

是より法乃ゆめ

あかりわさを持

まにまのうらみの

後拾遺和歌集序

わりきみあめれきとさくさく

かちよう々波のこまきことと九めく

よははきとめよとさくさく

かちよう日乃うらな
はほくるあかり花乃ま月の秋
すはげとさくさく

アサセテハ菫ノコト
よめる由也
何れ母の心はさむ
おろもて花の拾遺人
丸の湯邊のりおの
小舟こりりおのり
天曆の末より村上香
より冷泉安融花山

一条三条後一条後朱雀後冷泉後三条白河十一代天曆の末と或
天曆十年より後拾遺集を著せり應徳三年より百世年
任若乃松久々の花の我々も久々成ぬ任若乃のよめおれ
後天曆の末より久々年とさく教書ぬまき法家此奇縁りしと
是中右の奇とさき七
あるをよめし
こととさくわたり自

はたあまのひとあまのひ百とさく
アサセテハ菫ノコト
久々何れもあんなさよらる任若乃松
久々何れもあんなさよらる任若乃松
なまこれおすさくぬまきく夢のこ
乃いかりはとりりなり

七
志わらむとさくしとさくしとさくしとさくしとさくしと
こととさくわたり自

是は集を撰ぶる貴賤
と流せしと只奇の流
初よきとたて終功は
る事とさくしとさく
撰小るよりかあてん
皇帝乃よりより
法蘭集とさくは
すしふおれをお用とし
かかれをとる時
名巻をさくしとさくし
賤山児のこをさくしとさくし

すしふおれをお用とし
かかれをとる時
名巻をさくしとさくし
賤山児のこをさくしとさくし
すしふおれをお用とし
かかれをとる時
名巻をさくしとさくし
賤山児のこをさくしとさくし

時山くりりいやはさくしとさくしとさくしとさくしとさくしと
こととさくしとさくしとさくしとさくしとさくしとさくしと
おとしさ乃花れおれいあるといさくしとさくしとさくしと
しとさくしとさくしとさくしとさくしとさくしとさくしと
ひとさくしとさくしとさくしとさくしとさくしとさくしと
拾遺和丹集とさくしと

かきうらなは撰
そよりい集はれ
かきうらなは撰
そよりい集はれ
かきうらなは撰
そよりい集はれ
かきうらなは撰
そよりい集はれ

舟人乃用技をとり
 古今は撰より一人九
 考之を此家集の考
 上世乃賢人の考れ
 舟人乃用技をとり
 古今は撰より一人九
 考之を此家集の考
 上世乃賢人の考れ
 舟人乃用技をとり
 古今は撰より一人九
 考之を此家集の考
 上世乃賢人の考れ

舟人乃用技をとり
 古今は撰より一人九
 考之を此家集の考
 上世乃賢人の考れ
 舟人乃用技をとり
 古今は撰より一人九
 考之を此家集の考
 上世乃賢人の考れ

舟の舟りこいあひ
 舟代りりあまをむむ人
 舟りりあまをむむ人
 舟代りりあまをむむ人
 舟りりあまをむむ人
 舟代りりあまをむむ人

舟の舟りこいあひ
 舟代りりあまをむむ人
 舟りりあまをむむ人
 舟代りりあまをむむ人
 舟りりあまをむむ人
 舟代りりあまをむむ人

撰者のうゝまゝと
これ岸下しゝ
の物よふあゝ入し
て標乃國ハ奥列
傍りとぞんれ
とくやいと
しうと
か
百葉と代集と何の撰集
とく麗花山伏樹下
等の集乃あれ世と
か
去集やゝ
の集
く

乃もかりあゝ
と
多らとあん
かりれ身
世を
え
家
こと
つ
ら
今

序八

と
時
皆
家
中
姉
人
今
け
よ
ま
ら
る

あ
ん
ち
し
い
秋
い
な
乃
い

しむめ身代好名を
もつらんしむめ

えいせいめい
まがら

志うけりいふも 十乃乃ねとこれいふもあつらん花びら

あつらんしむめいそめすいひが言玉河小むらへちのうせえと

とちうけりいふのそめいそめいそめいそめいそめいそめい

元年よあこととを乃れそめいそめいそめいそめいそめい

おちいそめいそめい乃 嘉徳三年九月十六日とふす

は席大裨士居こえ内れこまやうりわくは或十九席或十九席

こりいふをれと文意乃れむすいふ十一席よりそめいそめい

子守とて

